

2020年度

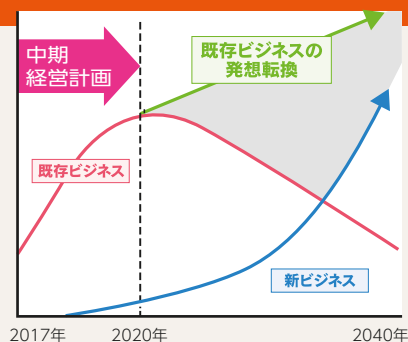
中期経営計画を策定

当社は、2017年度から2020年度までを対象とした「中期経営計画」を策定しました。「もっといい製品づくり」「もっといい構えづくり」「社員が幸せな会社づくり」をめざし、本計画を経営の中心に据えて着実な実行を

図るとともに、グローバル経営基盤強化をいっそう進めることで、「存在価値ある企業集団」として年輪的成長を実現してまいります。

策定の背景

- 世界的なEV・FCVなどの次世代車への加速度的な展開、自動運転・カーシェアリングの発展など、スマート社会の到来
- 当社を取り巻く環境が大きく変わっている中でも、“素材業のDNA”を活かした年輪的成長
- 将来を見据えてめざす姿を示し、その実現に向けてグループ全員がベクトルを合わせ、揺るぎない連結経営基盤を確立する必要性



2020年度 経営目標

連結売上高 **2,500億円**
(2017年度 2,362億円)

連結営業利益 **200億円**
(営業利益率:8%) (2017年度 118億円)

基本方針

1
地域/地球環境保全、安心と安全で全てのステークホルダーに貢献

2
多様なニーズに応える技術開発・市場開拓とモノづくりの進化

3
絶えず環境変化に打ち克つ、しなやかな連結収益/財務基盤

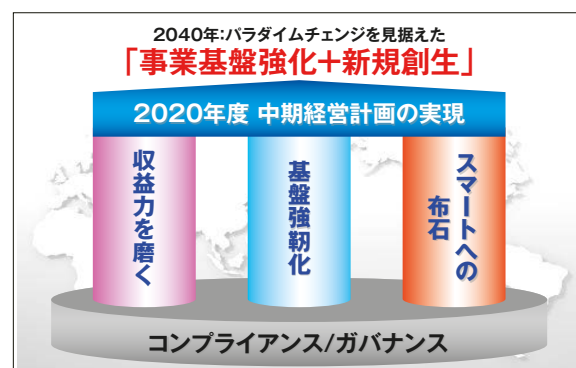
重点施策3本柱

企業の基軸である“コンプライアンス/ガバナンス”をベースに、「収益力を磨く」「基盤強靱化」「スマートへの布石」を中期経営計画実現への3本柱とし、「事業基盤の強化」および「新規創生」に取り組んでいきます。

めざす姿



更なるオールアイチ経営の強化



スマートへの布石

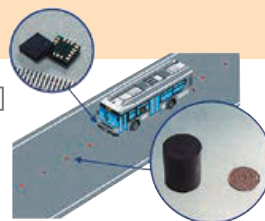
次世代事業の着実な育成と強化

- ①EV/FCV向けモーター、電池、インバータ部品・素材の研究
- ②自動運転支援システムへの貢献
- ③水素社会実現に向けた素材開発
…FCV車 供給ステーション用素材
- ④環境/医療/エネルギーなど、多様な事業へのニーズ開発



[EV/FCV]

[自動運転]



[環境/医療/エネルギーなど]

[水素社会]



(土壌改良剤使用の一例)



収益力を磨く

- ①カンパニー制導入による「スピーディな経営」への牽引力強化
- ②戦略的な高水準投資の実行
- ③モノづくり基盤構築と安定した収益基盤の実現
- ④“素材業のDNA”を活かした既存ビジネスの新たな用途・商品開発と展開

鋼片圧延ライン
リエンジ



CVT部品 生産ライン増強

HV部品
生産ライン増強



基盤強靱化

- ①2016年1月8日の爆発事故を教訓にしたプロジェクト「ステップアッププラン」の完遂と更なる深化
- ②Aichi Wayの浸透とグローバル経営基盤強化
- ③「働き方」「安全・環境・品質」「生産」「原価」の優先順位を守り、強固な事業基盤を構築

“優先順位”をしっかりと守る

【原価】たゆまぬ「知恵と改善」、「現地現物、原理原則」

【生産】素材を通じた「もっといい社会づくり」

【安全・環境・品質】全てのステークホルダーに「安心・安全」を

【働き方】“イキイキ・ワクワク”、「仕事に燃える集団づくり」

基盤の強化
(底力、足腰)

- 1.8爆発事故→ステップアッププラン完遂
(①安心・安全 ②管理システム ③BCP/BAP ④風土・意識・ブランド)
- Aichi Wayの浸透とグローバル経営基盤強化